

<東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞>

税金は大切なつながり

須賀川市立第二中学校 1年 村上 沙椰

私の街には、今年1月から図書館や子どもの遊び場、公民館などがある大きな複合施設が出来上がりました。友達と遊んだり、勉強が出来るスペースがたくさんあり、私のお気に入りの場所です。

こんなに大きな施設には、どれくらいの税金が使われているかなと思い、調べてみました。すると、震災復興特別交付税という税金が建設工事費の約二十パーセントに使われていました。この税は、東日本大震災の復旧、復興にあたって、被災団体が全力で取り組めるようにするための特別交付税です。交付税には、所得税や消費税などの国税5税の一定率が使われていました。それを見て私は、驚きました。思ったよりも、多くの税金が使われていたし、東日本大震災から八年たった今でもこのような税金が使われていたからです。あの楽しい施設もたくさんの人達に支えられている事が分かりました。

私達の身の周りでは、他にもたくさんの物が税金で支えられていたんだなとあらためて思いました。中学校で使われている教科書やいすや机など、そして、街の道路の整備や子どもの医療代など、小さい子どもから大人までみんなが税金に助けられているのだなと感じました。一人一人が払っている税金が集まり様々な分野で大切に使われているのだなと思いました。

私は、今まで税金についてあまり考えた事はありませんでした。だから、消費税が十パーセントに引き上がるというニュースを見ても、「高くなるのか」とあまり興味はありませんでした。けれども、税について調べてみて、買い物をした時に払った税金が、だれかの役に立っていると考えるとすごくうれしい気持ちになりました。中学生でも税金を払って、少しでも人のためになれていいなと思いました。

八年前の東日本大震災から、福島県は、少しずつ復興しています。今、こうして楽

しく生活できているのも税金のおかげだと思います。震災により、くずれた建物や被害を受けた人への支えやインフラを整えること、そして、八年たった今でもこうして、施設を建てる支えなど様々な形で税金に助けられていると思うと本当に感謝だと思いました。税金という形でたくさんの人がつながり、協力し合って良い日本になっていくと考えると税金ですごいなと思いました。

もし、税金という仕組みがなくなってしまうたら、病院や学校など色々な場所での費用が個人の負担になってしまうし、働きたくても働けない人や病気の人が困る事がたくさんあると思います。だから私は、大人になっても税を大切にし、だれかの役に立っている大切なつながりだと考え、子どもやお年よりの方や自分たちのためになる税金を大事に、良い納税者になりたいと思いました。